

Shinsei

HALLO
neo-7

操作説明書 応用編

ラベルパートナー操作編

Shinsei

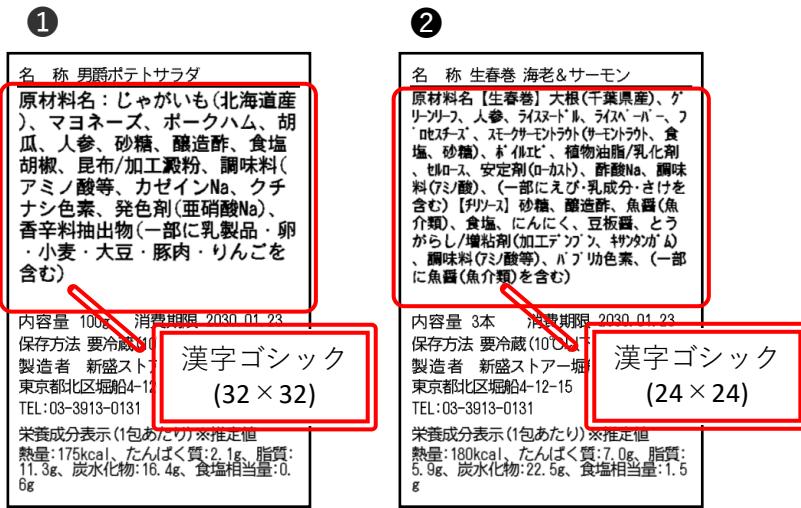
新盛ソリューションズ株式会社

目次

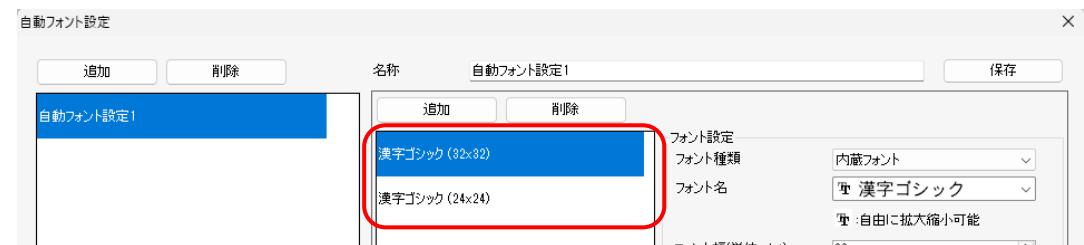
◆ <u>自動フォント</u>	----- 3ページ
◆ <u>二枚貼りレイアウト</u>	----- 6ページ
◆ <u>店舗情報テーブル</u>	----- 8ページ
◆ <u>検索用バーコード項目の指定</u>	----- 13ページ
◆ <u>合成</u>	----- 15ページ
◆ <u>一時変更設定</u>	----- 18ページ
◆ <u>分類発行</u>	----- 23ページ
◆ <u>税率設定</u>	----- 27ページ
◆ <u>価格項目 小数表示</u>	----- 32ページ
◆ <u>フリーサイズラベルの作成</u>	----- 34ページ

自動フォント

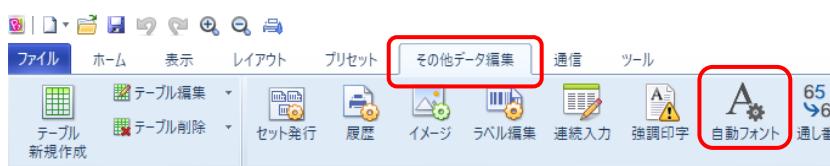
下記の①、②のラベルのように原材料名など商品によって文字数が異なる場合、印字範囲内に合わせて予め設定したフォントサイズで表示されます



⚠️ 印字範囲内に全文字が収まるよう自動で文字サイズが拡大・縮小されるのではなく、下記のようにフォントを2種設定した場合、①のラベルは漢字ゴシック32×32、②のラベルは漢字ゴシック24×24で表示されます
フォント種類は最大8種まで設定可能です



① [その他データ編集] リボンの [自動フォント] をクリックします



② [自動フォント設定] ダイアログが表示されます
左のフレームの追加をクリックすると、自動フォント設定1と入力され名称枠にも自動フォント設定1と入力されます

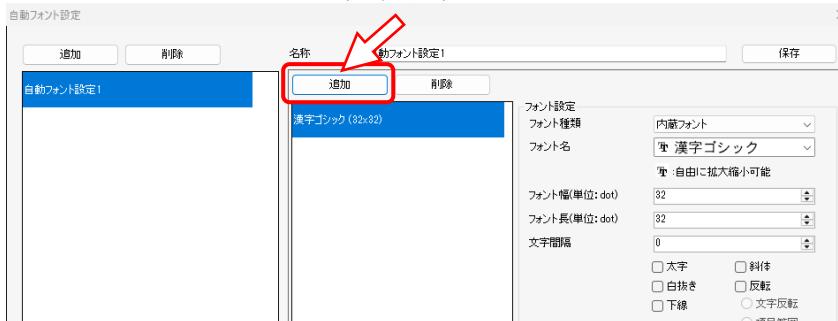


自動フォント

③右のフレームの追加をクリックすると、枠内に漢字ゴシック(32x32)が入力されます

※(32x32)は、フォント幅が32dot、フォント長が32dotを表しています

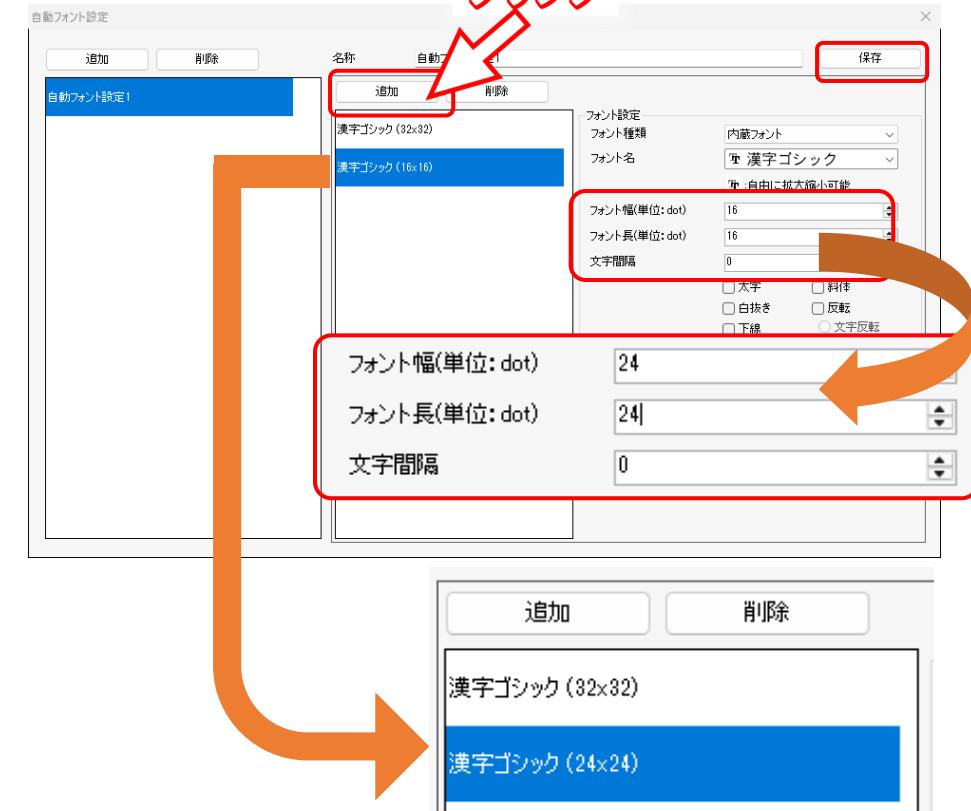
クリック



④フォントを追加したい場合は、再度、右フレームの追加をクリックします

ここでは、フォント幅24、フォント長24を追加します
フォント幅とフォント長を「24」と入力すると漢字ゴシック(24x24)が追加されます

クリック



食品衛生法で「表示は原則として日本工業規格Z 8305（1962）に規定する8ポイント以上の大きさの統一のとれた活字で行わせることとするが、表示可能面積がおおむね150cm²以下のものにあっては、日本工業規格に規定する5.5ポイント以上の大きさの統一のとれた活字で行わせることができます」とされています

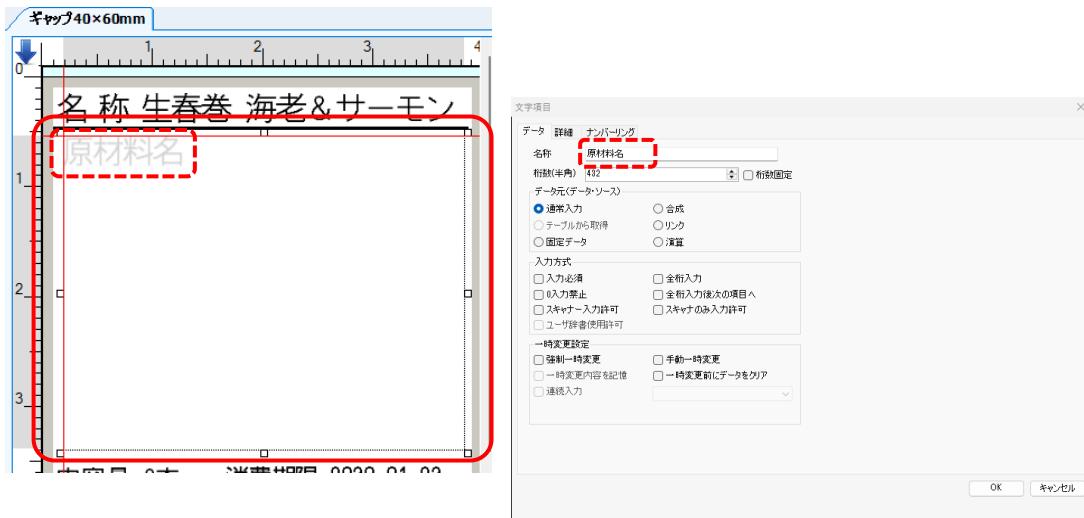
更にフォントを追加したい場合は同様の作業を行います
設定が完了したら保存をクリックし×で閉じます

【注意事項】

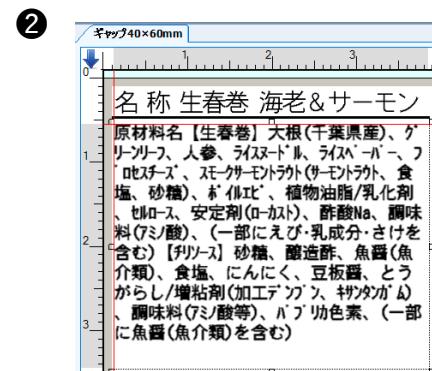
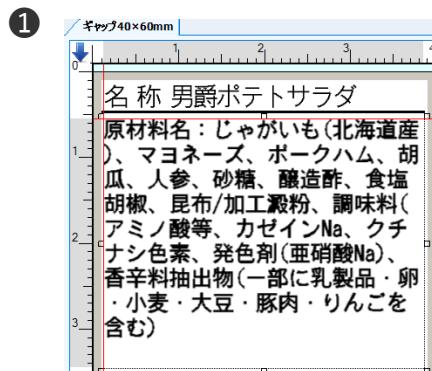
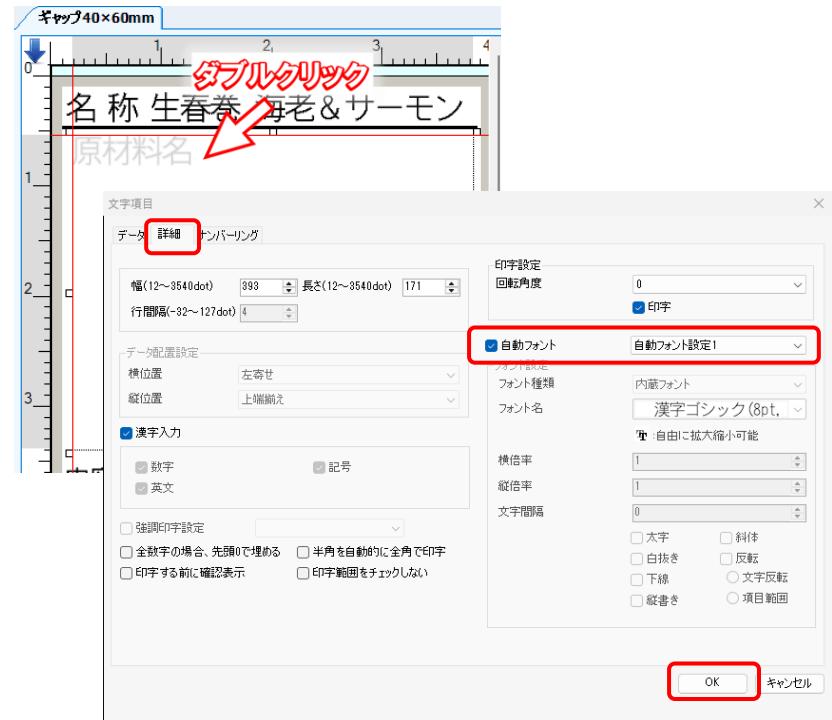
サイズの大きいフォントから順に設定してください
フォント種類は最大8種まで設定可能です

自動フォント

⑤印字範囲に余裕をもって文字項目をレイアウトします
ここでは名称を原材料名とします



⑥文字項目のプロパティの詳細タブを開きます
(文字項目の上でダブルクリック又は右クリックで開きます)
自動フォントにチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします



①の原材料の文字項目は印字範囲に余裕があるため自動フォントで設定した大きい文字(32×32)で表示されます

②の原材料の文字項目は印字範囲に余裕がないため自動フォントで設定した小さい文字(24×24)で表示されます

二枚貼りレイアウト

容器包装の大きさ、形状から1枚のラベルで表示することができない場合には、2枚に分けてラベルを作成することができます



二枚貼りレイアウトを使用する場合はアイマークラベルを推奨します

①レイアウトタブをダブルクリックして[レイアウト設定]を開きます

ダブルクリック

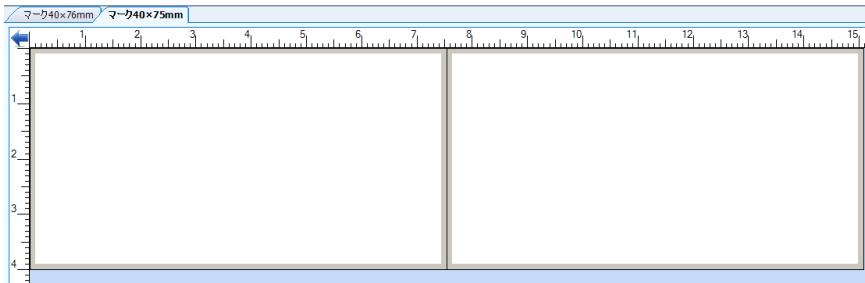


①二枚貼りレイアウトにチェックを入れます



二枚貼りレイアウト

③二枚のレイアウトが表示されます

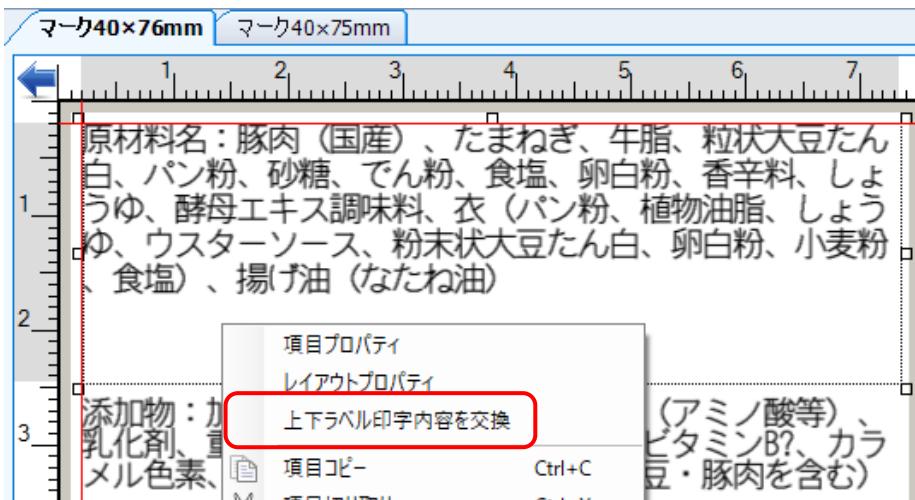


④文字項目やバーコード等をレイアウトします

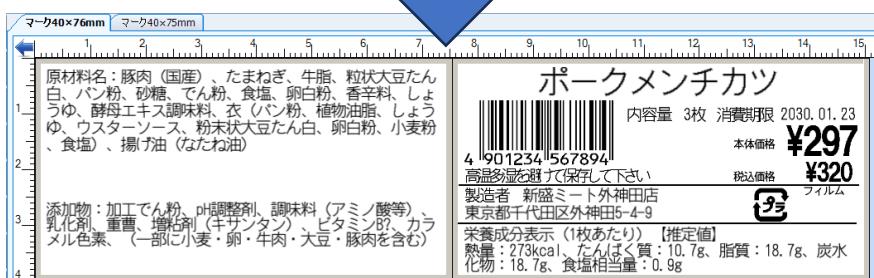


二枚貼りの上下を入れ替えることもできます

①レイアウトエリアで右クリックをし[レイアウト設定]を開き[上下ラベル印字内容を交換]を選択します

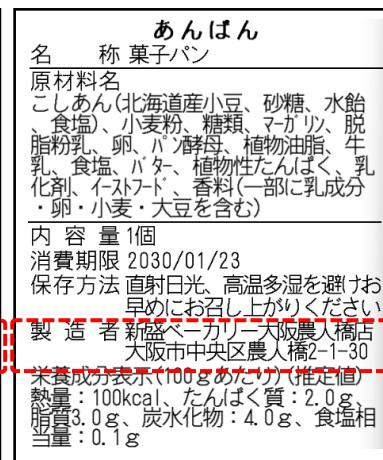
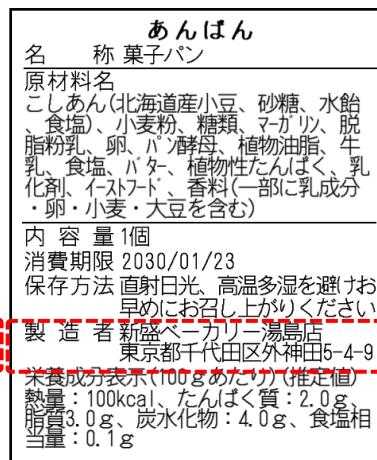
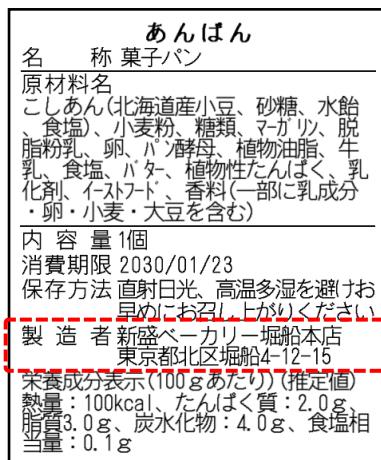


②入れ替わりました



店舗情報テーブル

製造者の住所、電話番号など個別にレイアウトを作らなくても店舗テーブルを使用することで、neo-7本体のデータ管理内にある店舗情報で店舗番号に紐づいた印字が可能です



【店舗情報テーブル】

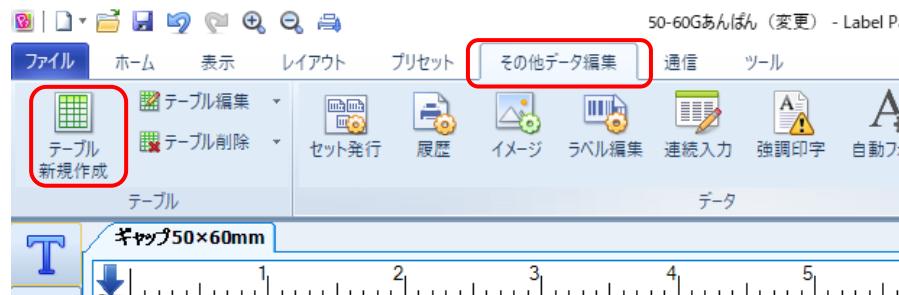
テーブル編集

名称	店舗情報テーブル	プロパティ	CSVデータを読み込	CSV形式で保存
店番(4B)	店名(6B)	住所 1 (6B)	電話 (6B)	
1	新盛ベーカリー堀船本店	東京都北区堀船4-12-15	03-3913-0131	
2	新盛ベーカリー湯島店	東京都千代田区外神田5-4-9	03-5818-7861	
3	新盛ベーカリー大阪農人橋店	大阪市中央区農人橋2-1-30	06-6765-4381	
4				
5				
6				

1. 店舗情報テーブルの作成

ここでは、会社名、住所、電話番号などの項目データを使って店舗情報テーブルを作成します

- ① [その他データ編集] リボンの [テーブル新規作成] をクリックします



- ② [テーブル新規作成ウィザード] 画面から [店舗情報テーブル] を選択し、[次へ] をクリックします

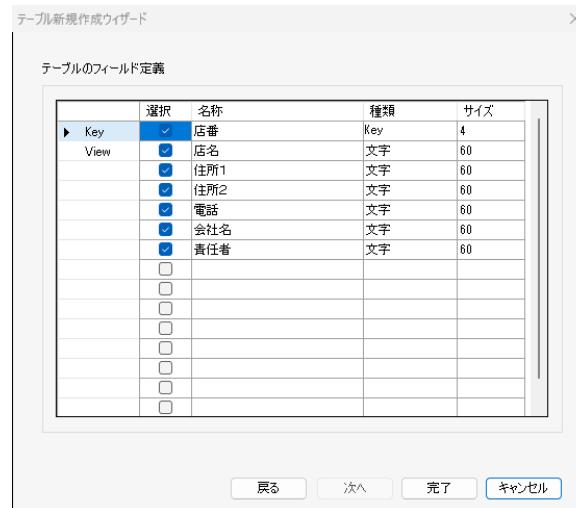


店舗情報テーブル

③テーブル新規作成ウィザード画面が表示されます
ここでは変更せずに[次へ]をクリックします



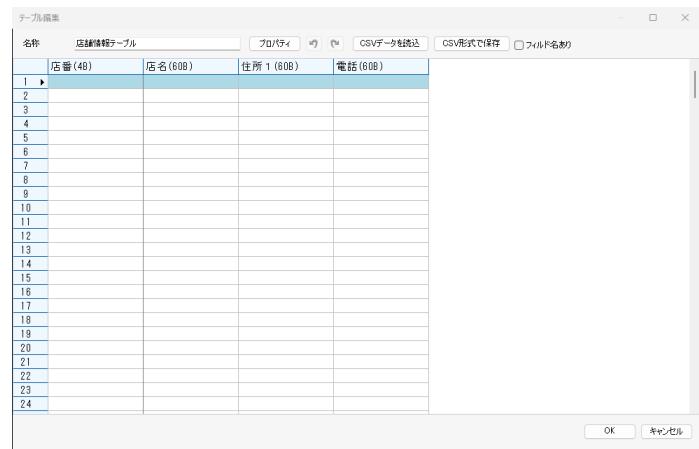
④テーブルのフィールド定義が表示されます



⑤使用するフィールドにチェックを入れ、必要に応じてフィールド追加、[名称] / [種類] / [サイズ] の変更を行います



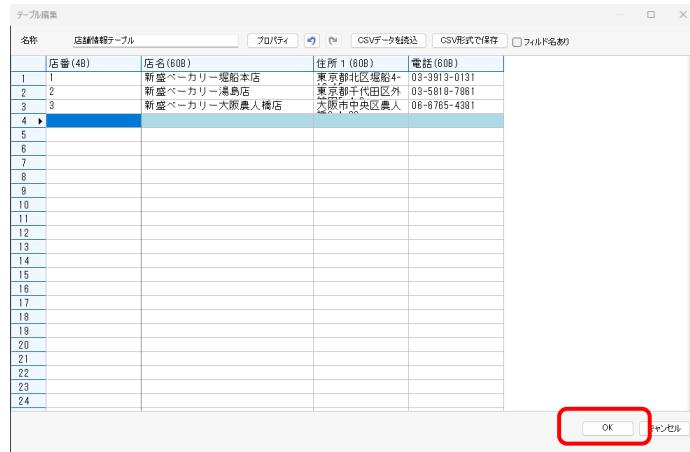
⑥[完了] をクリックすると [テーブル編集] ダイアログが表示されます



店舗情報テーブル

⑦セルを選択して情報を入力し、必要に応じて名称・プロパティの変更を行い、[OK]をクリックします

これで、店舗情報テーブルの作成が完了しました



2. テーブルから取得する

項目に関連付けられたテーブルから項目データを取得する場合、[データ元 (データ・ソース)] の [テーブルから取得] を選択します

[テーブルから取得] を選択した場合、[テーブル関連付け] 項目が表示されます

① 項目一覧エリアの対応する項目に [テーブル関連] と表示され、レイアウト上の項目がどのテーブルに関連付けられているかがわかります

② 項目データの項目は、**入力エリア**に表示されません



テーブルから取得する[製造者]の
文字項目は表示されない

2 入力エリア

呼出番号	名称	原材料名	内容量	補正(日)	保存方法	品名	栄養成分表示
1	1	燕子あん	1個	2	直射日	あん	熱量:
2							
3							

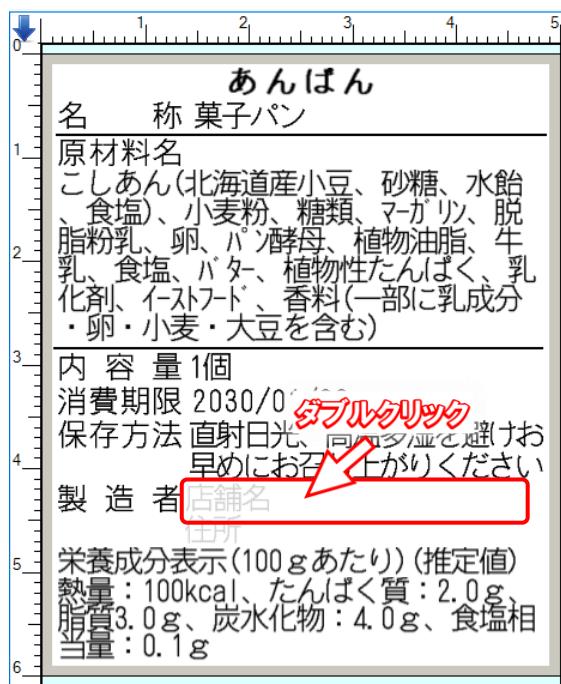
① 項目一覧エリア

熱量: 100kcal、たん 能質3.0g、炭水化物 当量: 0.1g
6
文字
名称 [固定 = "名称"]
原材料名 [固定 = "原材料名"]
原材料名
内容量 [固定 = "内容量"]
内容量
消費期限 [固定 = "消費期限"]
保存方法 [固定 = "保存方法"]
保存方法
製造者 [固定 = "製造者"]
製造者 [テーブル関連 = "店舗情報テーブル"] - " 製造者住所 [テーブル関連 = "店舗情報テーブル"]" ※製造者住所 [固定 = "栄養成分表示: 热量: 100kcal、たん能質3.0g、炭水化物当量: 0.1g"]

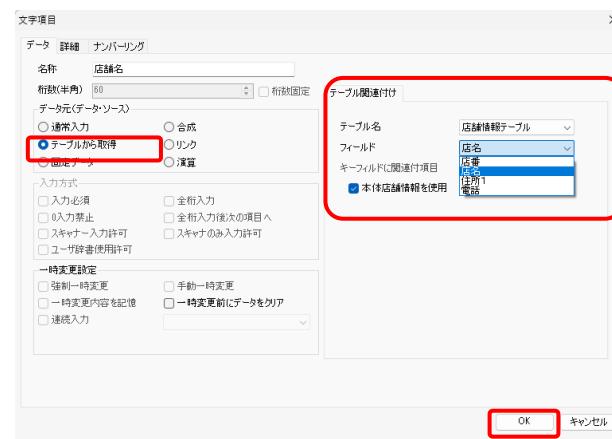
店舗情報テーブル

1.で作成したテーブルからデータを取得します

①文字項目をレイアウトし、ダブルクリックで文字項目のプロパティを開きます



② [データ元 (データ・ソース)] の [テーブルから取得] を選択すると、 [テーブル関連付け] 項目が表示されます
テーブル名をプルダウンし[店舗情報テーブル]を選択し、 [フィールド]をプルダウンし表示する項目を選択します
ここでは[店名]を選択し[OK]をクリックします



本体店舗情報を使用

チェックを入れた場合

.....本体（プリンタ）に保存されている店舗情報を使用します

本体の店舗情報は、ホーム画面のデータ管理⇒店舗情報をタッチすると表示されます

チェックを外した場合

.....入力エリアでドロップダウンリストから店舗情報テーブルでリンクされた店舗情報を選択することができます

店舗情報テーブル

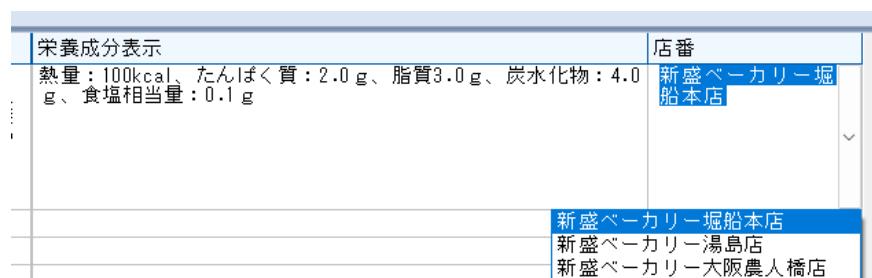
【本体店舗情報を使用にチェックをした場合】

ラベルパートナーデータを本体に送信し、本体(プリンタ)で店舗情報を選択し発行します



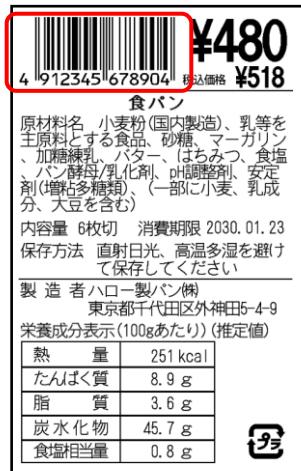
【本体店舗情報を使用にチェックを外した場合】

入力エリアでドロップダウンリストから店舗情報テーブルでリンクされた店舗情報を選択することができます

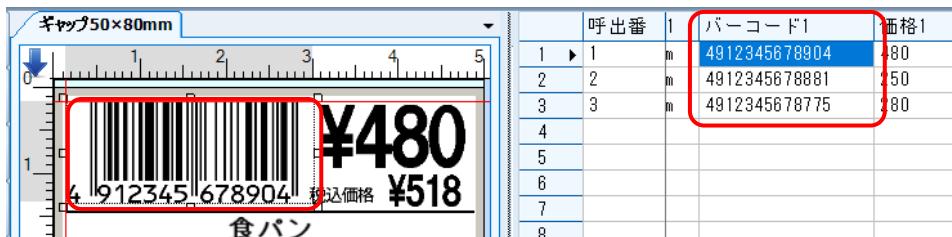


検索用バーコード項目の指定

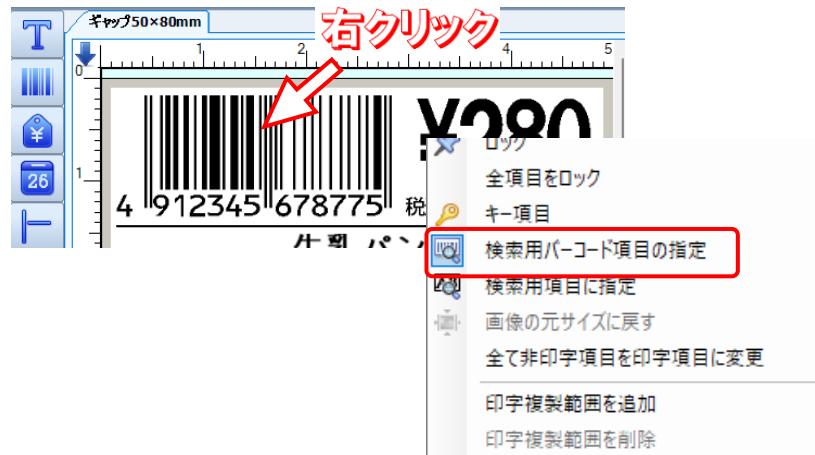
バーコード項目を検索用バーコード項目として設定すると、スキヤナーでバーコードを読み取りラベルを発行することができます



①バーコード項目をレイアウトします



②検索用バーコード項目に設定する項目上で右クリックし
[検索用バーコード項目]を選択します
選択した項目がバー検索時の検索対象のバーコード項目として
設定されます



検索用バーコード項目の指定

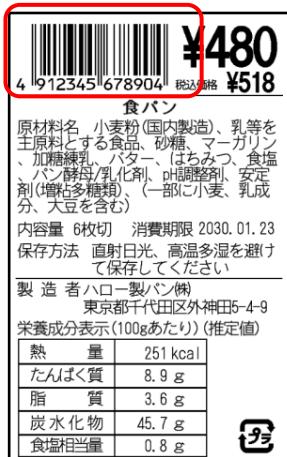
③レイアウト上のバーコード項目を検索用バーコード項目として設定して本体に送信すると、本体に [バー検索] アイコンが作成されます



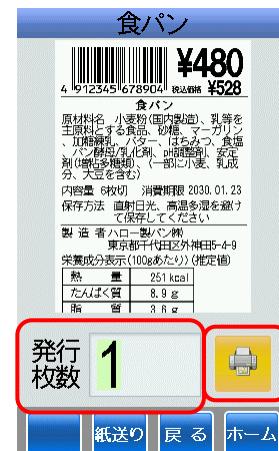
④[バー検索]アイコンをタッチします



⑤バーコードのスキャナー読み取り画面が表示されます
検索したいバーコードをスキャナーで読み取ります
ここでは食パンのバーコードをスキャナーで読み取ります



⑥検索されたバーコードがレイアウトされたプリセットデータが表示されます
発行枚数を変更する場合はタッチキーで変更し[印字]アイコンをタッチします



合成

下記ラベルの栄養成分表示のように「熱量」 「たんぱく質」 等、複数の項目データを合成して1つの項目データにすることができます

品名	クッキー
名称	焼き菓子
原材料	小麦粉(国内製造)、砂糖、ショートニング、全卵、バター、食塩/膨張剤、カラメル色素、香料(一部に小麦・卵・乳成分を含む)
内容量	10枚
賞味期限	2030.01.23
保存方法	高温多湿を避けて保存
製造者	Patisserie Shinsei
東京都北区堀船4-12-15	
栄養成分表示(1枚あたり)※推定値	
熱量:40kcal	たんぱく質:0.5g
脂質:1.7g	炭水化物:5.2g
食塩相当量:0.04g	

The screenshot shows a software interface for label design. On the left, a label template is displayed with various fields like '品名' (Name), '保存方法' (Storage method), and '栄養成分表示(1枚あたり)※推定値' (Nutritional information per piece). A red box highlights the nutritional values: 热量:40kcal, たんぱく質:0.5g, 脂質:1.7g, 炭水化物:5.2g, 食塩相当量:0.04g. On the right, a table lists these values for each product. The first row (呼出番号 1) has its '热量' (Calories) field highlighted with a red box, showing the value 40.

呼出番号	熱量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
1 ► 1	40	0.5	1.7	5.2	0.04
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

合成を使用しない場合

1

品名	クッキー
名称	焼き菓子
原材料	小麦粉(国内製造)、砂糖、ショートニング、全卵、バター、食塩/膨張剤、カラメル色素、香料(一部に小麦・卵・乳成分を含む)
内容量	10枚
賞味期限	2028.03.26
保存方法	高温多湿を避けて保存
製造者	Patisserie Shinsei
東京都北区堀船4-12-15	
栄養成分表示(1枚あたり)※推定値	
熱量: 40 kcal	たんぱく質: 0.5 g
脂質: 1.7 g	炭水化物: 5.2 g
食塩相当量: 0.04 g	

入力エリアは同じですが、栄養成分を表示するスペースに余裕が必要です

呼出番号	熱量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
1 ► 1	40	0.5	1.7	5.2	0.04
2					

2

品名	クッキー
名称	焼き菓子
原材料	小麦粉(国内製造)、砂糖、ショートニング、全卵、バター、食塩/膨張剤、カラメル色素、香料(一部に小麦・卵・乳成分を含む)
内容量	10枚
賞味期限	2028.03.26
保存方法	高温多湿を避けて保存
製造者	Patisserie Shinsei
東京都北区堀船4-12-15	
栄養成分表示(1枚あたり)※推定値	
熱量:40kcal たんぱく質:0.5g 脂質:1.7g 炭水化物:5.2g 食塩相当量:0.04g	

1つの文字項目に栄養成分全ての項目を入力すると、全商品毎に「熱量」等の項目、単位等を入れる手間がかかります

呼出番号	内容量	保存方法	製造者	製造者住所	栄養成分表示 1
1 100	10枚	高温多湿を避けて保存	Patisserie Shinsei	東京都北区堀船4-12-15	熱量:40kcal たんぱく質:0.5g 脂質:1.7g 炭水化物:5.2g 食塩相当量:0.04g
2	5枚	高温多湿を避けて保存	Patisserie Shinsei	東京都北区堀船4-12-15	熱量:40kcal たんぱく質:0.5g 脂質:1.7g 炭水化物:5.2g 食塩相当量:0.04g

合成

- ①レイアウトエリアの枠外に栄養成分の文字をレイアウトします
ここでは赤枠で囲った15個の文字項目を合成します

	呼出番号	熱量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量	
1	▶ 1	船4-	40	0.5	1.7	5.2	0.04

- ② ①で作成した15個の文字項目を合成させる文字項目をレイアウトします
ダブルクリックで文字項目のプロパティーを開きます

- ③ [データ元 (データ・ソース)] の [合成] を選択すると、
[合成入力] 項目が表示されます
[項目一覧] より合成する項目を選択し をクリックして[結合子項目] に移動させ[OK]で閉じます

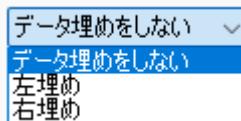
- ① 子項目桁数不足処理
- ② データ埋めの文字
- ③ 日付時刻項目の合成の形式
- ④ 項目間の区切り設定

合成

①子項目桁数不足処理

各項目の桁数よりデータが少ない場合に不足桁数をデータ埋めする方法を選択します

選択された結合子項目ごとに設定します



データ埋めをしない 不足桁数にデータ埋めをしないで合成します

左埋め 左側に不足桁数のデータ埋めをします

右埋め 右側に不足桁数のデータ埋めをします

④15個の文字項目が合成されました

製造者	Patisserie Shinsei
東京都北区堀船4-12-15	
栄養成分表示(1枚あたり)※推定値	
熱量:40kcal	たんぱく質:0.5g
g 脂質:1.7g	炭水化物:5.2g
食塩相当量:0.04g	

熱量:	40	kcal
たんぱく質:	0.5	g
脂質:	1.7	g
炭水化物:	5.2	g
食塩相当量:	0.04	g

②データ埋めの文字

プレダウンメニューからデータ埋めの文字を選択します

③日付時刻項目の合成の形式

日付・時刻項目を合成する時に選択します

桁数固定 区切り文字を含まない数字だけが合成されます

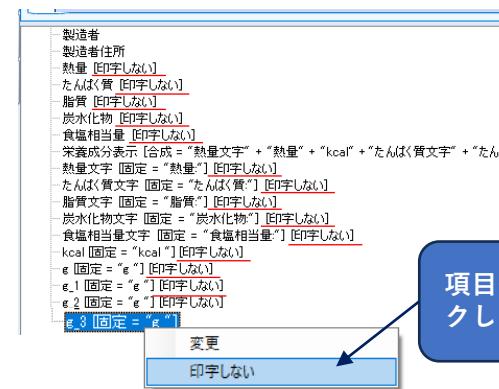
印字 データ 区切り文字を含んだ数字で合成されます

補正データ 補正データを含んだ項目を合成すると表示され、補正日が合成されます

④項目間の区切り設定

項目間に全角または半角文字を1文字挿入して区切ることができます

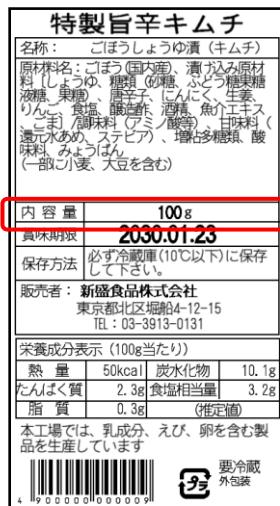
⑤15個の文字項目は印字しないに設定します



項目一覧エリア内で右クリック
クし[印字しない]を選択

一時変更設定

下記ラベルのようなレイアウトで内容量が「100 g」「200 g」「500 g」など複数ある場合、内容量ごとに入力しなくても、プリンターで内容量を変更して発行することが可能です



一時変更設定をしない場合

内容量が100g、200g、500gの3種類ある場合それぞれの入力が必要です

呼出番号	内容量	単位	補正
1	100	g	400
2	200	g	400
3	500	g	400

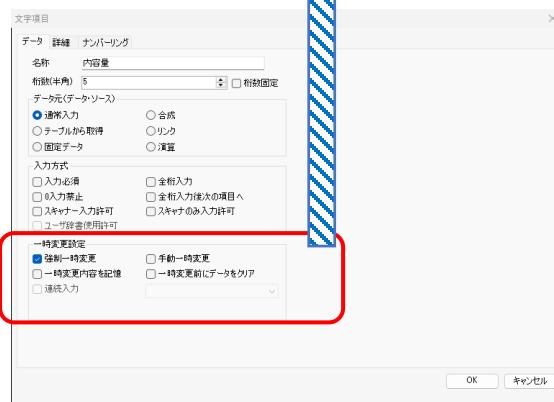
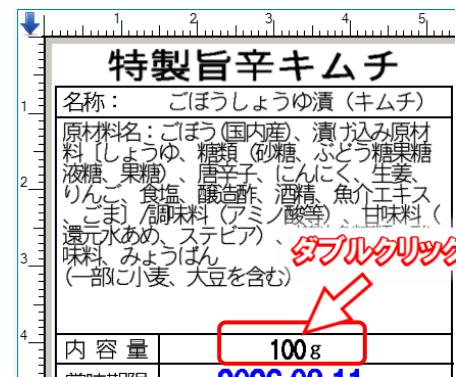
一時変更設定をした場合

1種類のみの入力し、プリンターで変更可能です

呼出番号	原材料名	内容量	単位	補正
1	ごぼう（国内産）、漬け込み原材	100	g	400
2				

①内容量の文字項目をレイアウトします
ダブルクリックで文字項目のプロパティーを開き一時変更設定をおこないます

②パートナーデータを本体へ送信します



一時変更設定

【強制一時変更】

ラベル発行時に、設定された項目を選択すると発行前にタッチパネル上に確認画面が表示され、編集してラベル発行することができます

なお、ラベル発行ごとに変わる項目に設定します

【強制一時変更】

ラベル発行時に、設定された項目を選択すると発行前にタッチパネル上に確認画面が表示され、編集してラベル発行することができます

【一時変更内容を記憶】

【強制一時変更】、【手動一時変更】を設定した場合に選択できます

ラベル発行時にラベルプリンターで一時変更した内容を記憶する場合にチェックを入れます

次回の変更時に、前回変更されたデータ内容が表示されます

【一時変更前にデータをクリア】

【強制一時変更】、【手動一時変更】を設定した場合に選択できます

ラベル発行時に一時変更項目のデータをクリアする場合にチェックを入れます

次回の変更時に、前回変更されたデータ内容は表示されません

一時変更設定

①手動一時変更/一時変更内容を記憶と設定した場合

1.呼出発行をタッチします



2.発行する呼出番号を選択し次へをタッチします



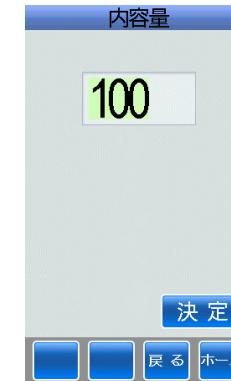
3.手動一時変更に設定した文字項目が表示されます



4.変更が必要な場合は内容量をタッチします



5.タッチキーで内容量を変更します



6.ここでは200に変更します



7.ラベルを発行します



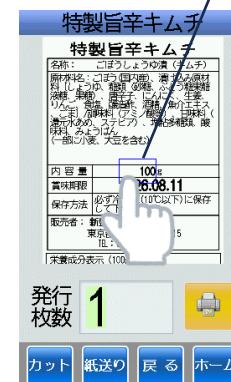
8.ラベル発行後プリセット選択画面に戻ります



9. 6.で変更した内容量200が表示されます



[印字イメージ表示]に設定している場合は一時変更に設定した項目が青枠で表示されます
青枠をタッチすると5.と同じ画面が表示されます



一時変更設定

②手動一時変更/一時変更前にデータをクリアと設定した場合

1.呼出発行をタップします



2.発行する呼出番号を選択し次へをタッチします



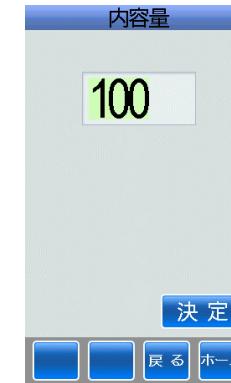
3.手動一時変更に設定した文字項目が表示されます



4.変更が必要な場合は内容量をタップします



5.タッチキーで内容量を変更します



6.ここでは200に変更します



7.ラベルを発行します



8.ラベル発行後プリセット選択画面に戻ります



9. 6.で変更した内容量は記憶されません



一時変更設定

③強制一時変更/一時変更内容を記憶と設定した場合

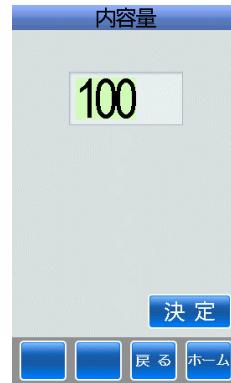
1.呼出発行をタッチします



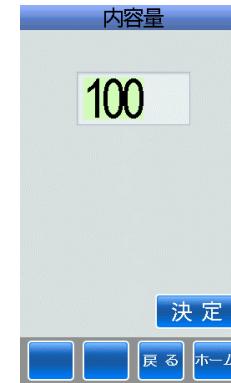
2.発行する呼出番号を選択し次へをタッチします



3.強制一時変更に設定した文字項目が表示されます



4.変更が必要な場合はタッチキーで内容を変更します



5.ここでは200に変更します



6.ラベルを発行します



7.ラベル発行後プリセット選択画面に戻ります



8. 5.で変更した内容量200が表示されます



一時変更設定

④強制一時変更/一時変更前にデータをクリアと設定した場合

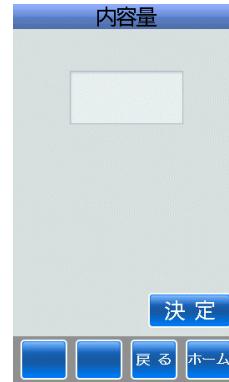
1.呼出発行をタップします



2.発行する呼出番号を選択し次へをタッチします



3.強制一時変更に設定した文字項目が表示されます



4.タッチキーで内容量を入力します



5.ここでは200と入力します



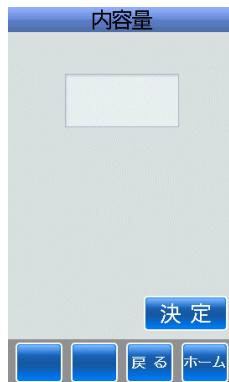
6.ラベルを発行します



7.ラベル発行後プリセット選択画面に戻ります



8. 5.で入力した内容量は記憶されません



分類発行

下記のように商品数が多い場合、分類設定を行うと定義された分類ごとにラベルを発行することができます

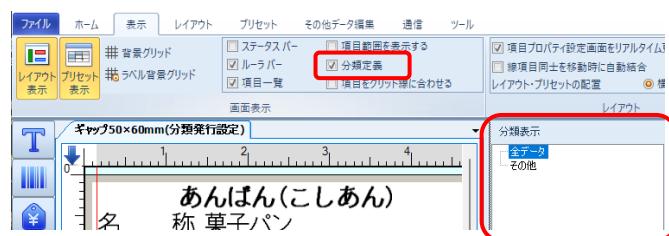
分類表示		呼出	品名	名称	原材料名
全データ	1	101	あんぱん(こしあん)	菓子パン	原材料名: 小豆つ
	2	102	あんぱん(うぐいす)	菓子パン	原材料名: うぐい
	3	103	あんぱん(白あん)	菓子パン	原材料名: 白つぶ
食パン [ID: 8]	4	104	メロンパン	菓子パン	原材料名: 小麦粉
食パン [ID: 6]	5	105	チョココロネ	菓子パン	原材料名: チョコレート
極生食パン [ID: 6]	6	106	ピーナツコロネ	菓子パン	原材料名: ピーナツ
サンドイッチ食パン [ID: 7]	7	107	レーズン食パン	食パン	原材料名: 小麦粉
レーズン食パン [ID: 8]	8	108	食パン(6枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
その他	9	109	食パン(8枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
	10	110	極上生食パン(4枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
	11	111	極上生食パン(6枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
	12	112	極上生食パン(8枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
	13	113	サンドイッチ食パン(10枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉
	14	114	サンドイッチ食パン(12枚切り)	食パン	原材料名: 小麦粉



1. 分類定義

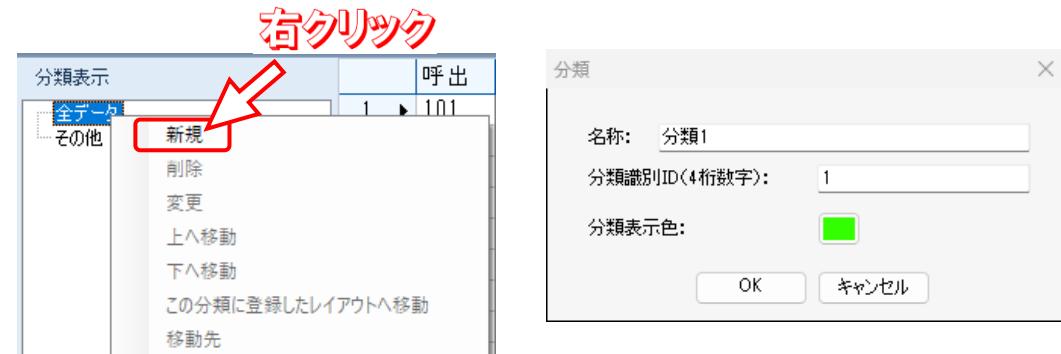
①分類表示エリアを表示させます

メニュー・リボン ⇒ 表示 ⇒ 分類定義ボックスにチェックマークを付けると、分類表示エリアが作成されます



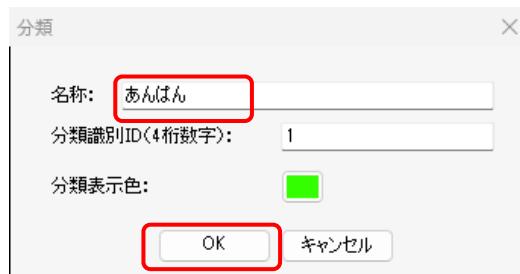
②分類表示エリアで分類定義をします

分類表示エリア内で右クリックして [新規] を選択します
[分類] ダイアログが表示されます

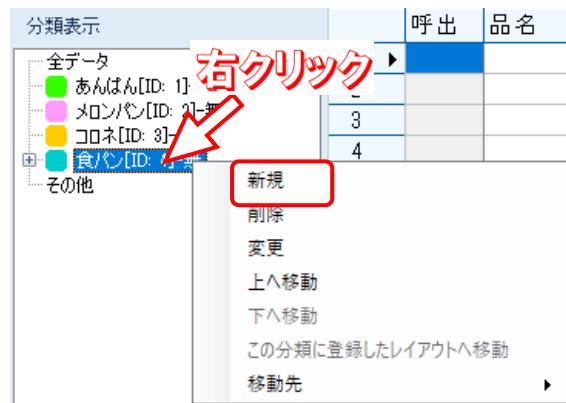


分類発行

③ここでは名称に「あんぱん」を入力し、分類識別番号IDを[1]のままにして[OK]ボタンをクリックします

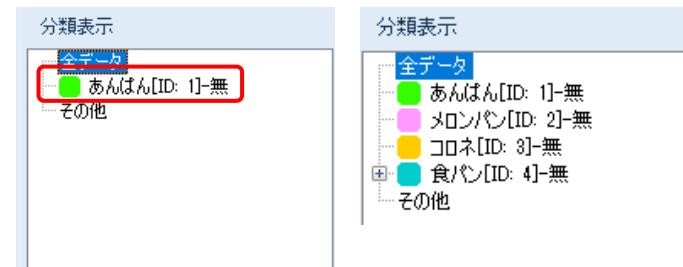


④食パンの分類の下にさらに下位分類を作成することができます
食パンを選択して右クリックし「新規」を選択します。



⑤[分類]ダイアログが表示されます
ここでは「レーズン食パン」入力し分類識別番号IDを[5]のままにして[OK]ボタンをクリックします

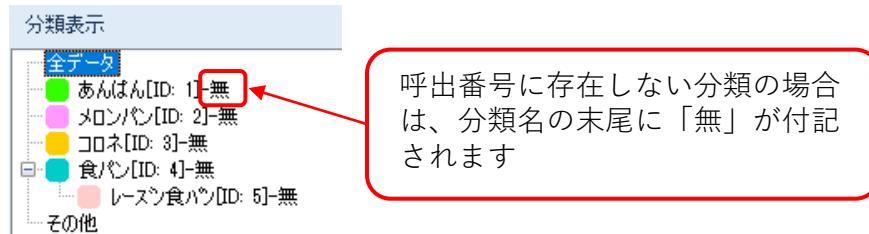
④分類表示エリアに弁当[ID:1]-無が作成されました
分類定義は最大100種類まで定義できます



⑤[分類]ダイアログが表示されます
ここでは「レーズン食パン」入力し分類識別番号IDを[5]のままにして[OK]ボタンをクリックします



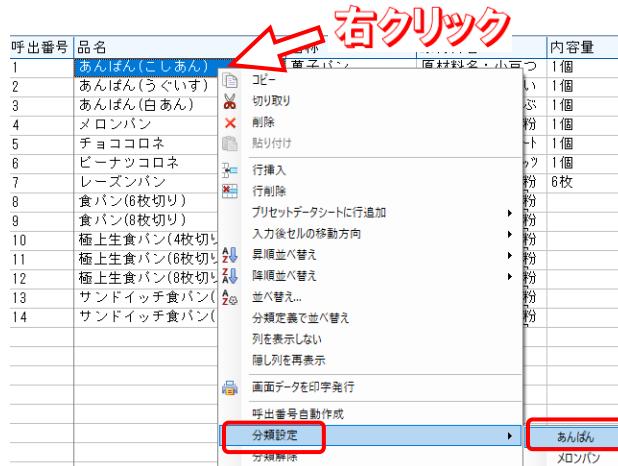
⑥分類表示エリアの「食パン」の下位に「レーズン食パン」が作成されました



分類発行

2.プリセット番号の分類設定

- ①入力エリアのプリセットデータを定義した分類に関連付けします
 呼出番号[1]の「あんぱん(こしあん)」を[あんぱん]の分類に定義します
 呼出番号[1]の列のいずれかのセル上で右クリックし[分類設定]⇒
 [あんぱん]を選択します



A screenshot of a software interface for managing food items. On the left, there's a table with columns for 'Call Number', 'Item Name', and 'Quantity'. A context menu is open over the first row ('1 あんぱん(こしあん)'). The menu items include 'Copy', 'Cut', 'Delete', 'Paste', 'Insert', 'Delete', 'Category Setting' (which is highlighted with a red box), and 'Category Selection'. At the bottom of the menu, there are buttons for 'Category Setting' and 'Category Selection', both of which are also highlighted with red boxes.

右クリック

- ②同様に呼出番号[2]～[14]もそれぞれの分類に定義します



A screenshot of a 'Category Display' screen. It shows a tree view on the left with categories like 'All Data', 'Category 1 (ID: 1)', 'Category 4 (ID: 4)', 'Category 2 (ID: 2)', 'Category 3 (ID: 3)', and 'Food (ID: 8)'. To the right is a table with columns 'Call Number', 'Item Name', and 'Name'. The table lists 14 entries from 101 to 114, each with its name and category color-coded.

呼出	品名	名称
101	あんぱん(こしあん)	菓子
102	あんぱん(うぐいす)	菓子
103	あんぱん(白あん)	菓子
104	メロンパン	菓子
105	チョココロネ	菓子
106	ビーナツコロネ	菓子
107	レーズンパン	食パン
108	食パン(6枚切り)	食パン
109	食パン(8枚切り)	食パン
110	極上生食パン(4枚切り)	食パン
111	極上生食パン(6枚切り)	食パン
112	極上生食パン(8枚切り)	食パン
113	サンドイッチ食パン(10枚切り)	食パン
114	サンドイッチ食パン(12枚切り)	食パン

3.分類発行

- ① 2.で作成したパートナーデータを本体へ送信します
 ホーム画面に分類発行アイコンが表示されます



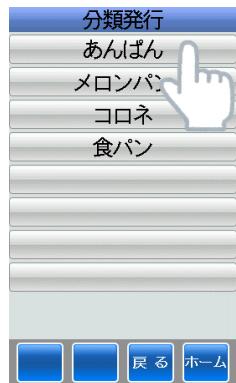
- ②分類発行をタッチします



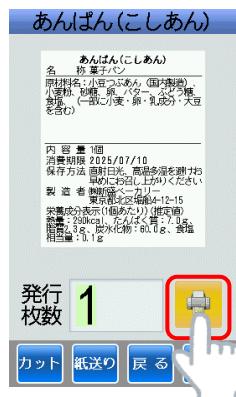
分類発行

③分類発行画面が表示されます

[あんぱん][メロンパン][コロネ] [食パン]と分類されています
ここでは[あんぱん]をタッチします

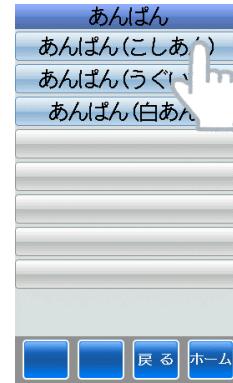


⑤ラベルを発行します



④[あんぱん]に分類されたプリセットデータがキー項目ごとに表示されます

ここではあんぱん(こしあん)をタッチします



税率設定

- 1つのレイアウトで標準税率と軽減税率の商品が混在する場合に商品毎に税率設定ができます
- レイアウト全体を軽減税率に設定することができます

標準税率(10%)

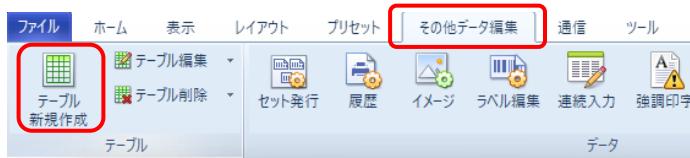


軽減税率(8%)

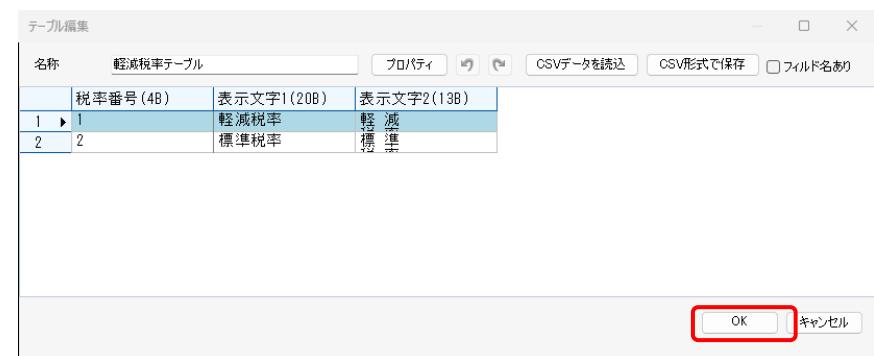


1. 税率項目(テーブルから取得)

① [テーブル新規作成ウィザード] 画面から[税率テーブル]を選択し、[完了]をクリックします



② テーブル編集画面が表示されます
[OK]をクリックします



税率設定

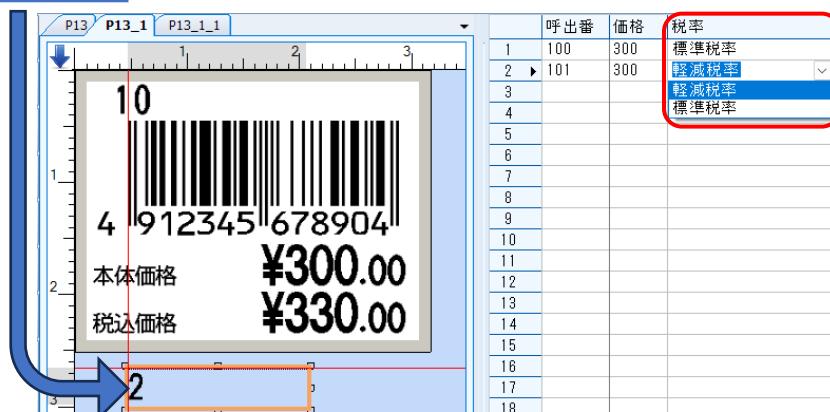
③ツールボックスの【税率項目を追加】アイコンをクリックし、レイアウトエリアで開始位置をクリックします

※税率項目は、レイアウト上に一つしかレイアウトできません



⑥入力エリアに税率項目が作成され、プルダウンメニューから軽減税率または標準税率を選択することができ、レイアウトされた税率項目には、軽減税率テーブルで関連付けられた税率番号が表示されます

※税率番号は[印字しない]に設定すれば印字されません



④クリックした位置を始点として、税率項目がレイアウトされます

ダブルクリックで税率項目のプロパティーを開き、[テーブルから取得]を選択し[OK]をクリックします



税率項目をレイアウトした場合は、[その他データ編集]リボンの[neo7設定]のダイアログで[税率を本体に送信]にチェックを入れなければ本体に送信することができません



税率設定

2.税率項目(通常入力)

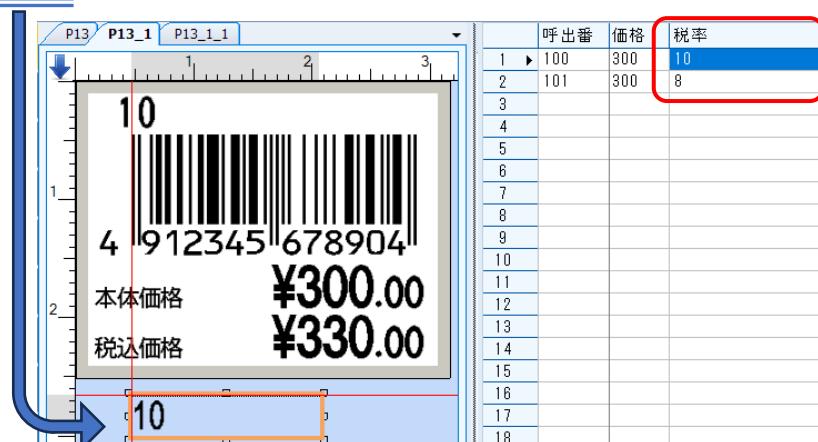
①ツールボックスの【税率項目を追加】アイコンをクリックし、レイアウトエリアで開始位置をクリックします

※税率項目は、レイアウト上に一つしかレイアウトできません



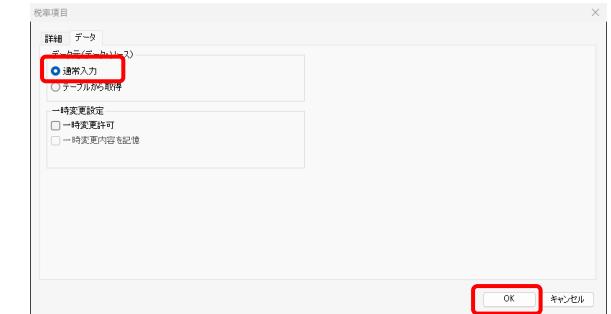
⑥入力エリアに税率項目が作成され、税率を入力することができます

※税率は[印字しない]に設定すれば印字されません



②クリックした位置を始点として、税率項目がレイアウトされます

ダブルクリックで税率項目のプロパティを開き、[通常入力]を選択し[OK]をクリックします

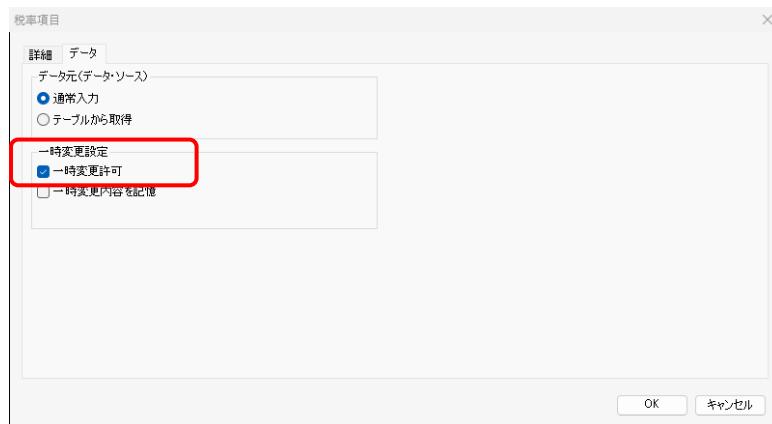


税率設定と異なる税率を入力すると[無効のデータです。]と表示され、本体に送信することができません



税率設定

税率項目の [一時変更許可] にチェックを入れると税率項目がタッチパネル上の価格入力画面と発行枚数画面に表示され、編集してラベルを発行することができます



タッチパネルに
[軽減税率] が表示さ
れます

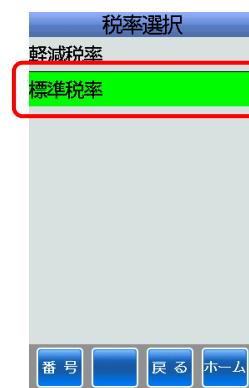
軽減税率をタッチし
ます



軽減税率(8%)で税
込価格が表示されま
す



標準税率をタッチし
ます



標準税率(10%)が税
込価格が表示されま
す



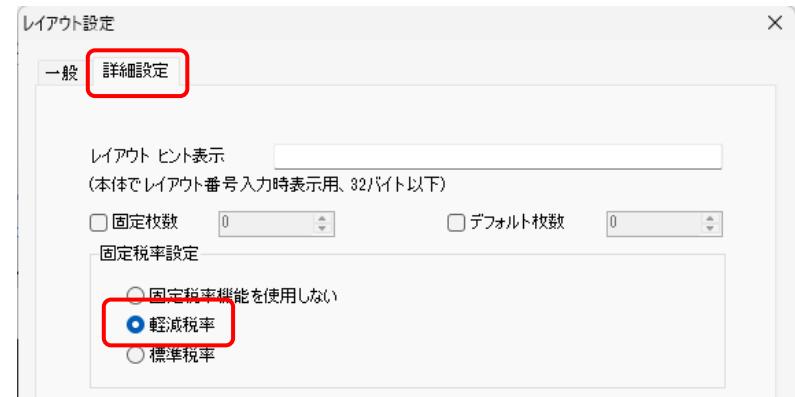
税率設定

3.レイアウト全体を軽減税率に設定する

- ① レイアウトエリア上で右クリック ⇒ [レイアウトプロパティ] を選択します



- ② [レイアウト設定] ダイアログが表示されます
レイアウト設定のプロパティの詳細設定タブ[固定税率設定]の[軽減税率]を選択します



全て軽減税率(8%)で税込価格が表示されます

	呼出番号	部門	価格
1	10	10	300
2	11	20	100
3	12	30	400
4	▶ 13	40	298
5			

10 4 912345 678904 本体価格 ¥300.00 税込価格 ¥324.00	20 4 912345 678911 本体価格 ¥100.00 税込価格 ¥108.00	30 4 912345 678447 本体価格 ¥400.00 税込価格 ¥432.00	40 4 951325 465462 本体価格 ¥298.00 税込価格 ¥321.84
---	---	---	---

価格項目 小数表示

価格項目で小数を表示することができます



①価格項目をレイアウトし、ダブルクリックで価格項目のダイアログボックスを開きます



【位置合わせ】

整数部分と小数部分を上端揃えにするか下端揃えにするか選択ができます

【整数フォントを使用】

小数印字を整数フォントで印字させる時にチェックを入れます

【小数フォント詳細設定】

小数フォントで印字させる時にチェックを入れます

【小数と整数の間隔】

数部分と小数点の間隔を調整することができます

【小数桁数】

小数点後2桁印字………小数点後2桁を印字する

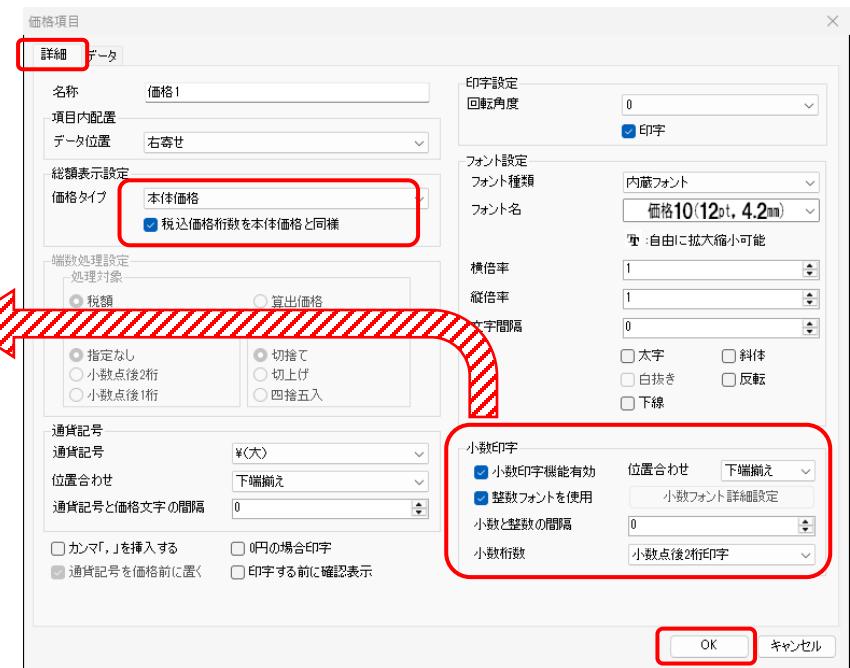
有効桁印字………小数部末尾の0を削除して印字

小数が0の場合、印字しない………小数点が0の場合は小数を印字しない

② [詳細] タブ ⇒ [価格タイプ] から [税込価格] または [本体価格] を選択します

ここでは[本体価格]を選択し、[税込価格桁数を本体価格と同様]にチェックを入れます

[小数印字]の[少数印字機能有効]にチェックを入れ[小数桁数]を[小数点桁後2桁印字]を選択します[OK]で閉じます



価格項目 小数表示

- ③レイアウトエリアに「本体価格」(1行目)「税込価格」(2行目)
 「税額」(3行目)が表示されます

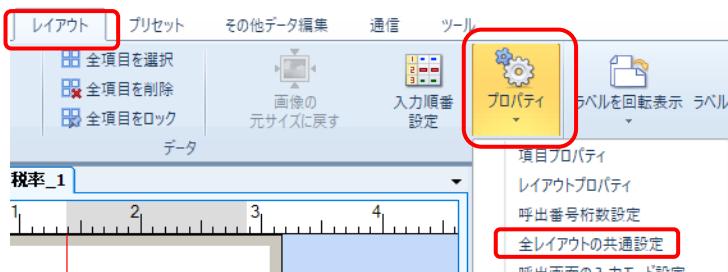


2行目以降は[Delete]キーで削除できます
 ここでは「税額」を削除します

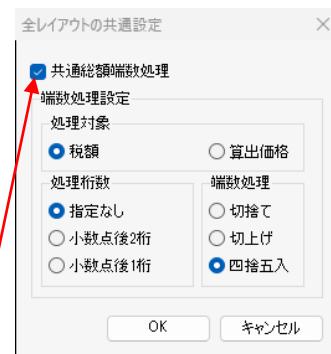


端数処理の設定 (全レイアウトの共通設定)

- ①[レイアウト]リボンの[プロパティ]⇒[全レイアウトの共通設定]を順に選択します



- ②[全レイアウトの共通設定]ダイアログが表示されます



処理桁数

- 指定なし ----- 小数点後の桁数を指定しません
- 小数点後2桁 ----- 小数点後2桁を端数処理します
- 小数点後1桁 ----- 小数点後1桁を端数処理します
- 端数処理
- 切捨て ----- 端数処理の桁を切捨てします
- 切上げ ----- 端数処理の桁を切上げします
- 四捨五入 ----- 端数処理の桁を四捨五入します

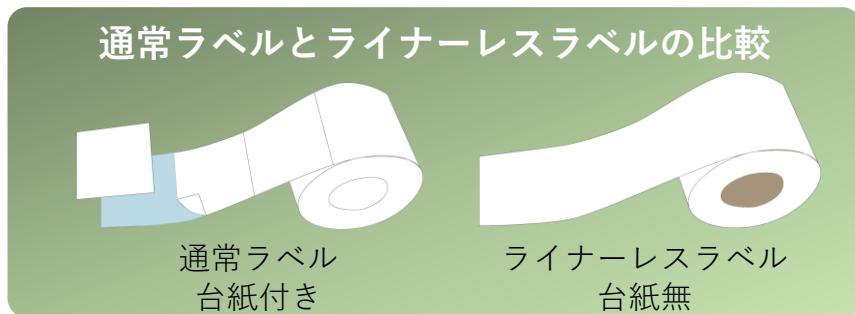
チェックを外すと価格項目のダイアログボックスで価格項目ごとに設定できます

フリーサイズラベルの作成

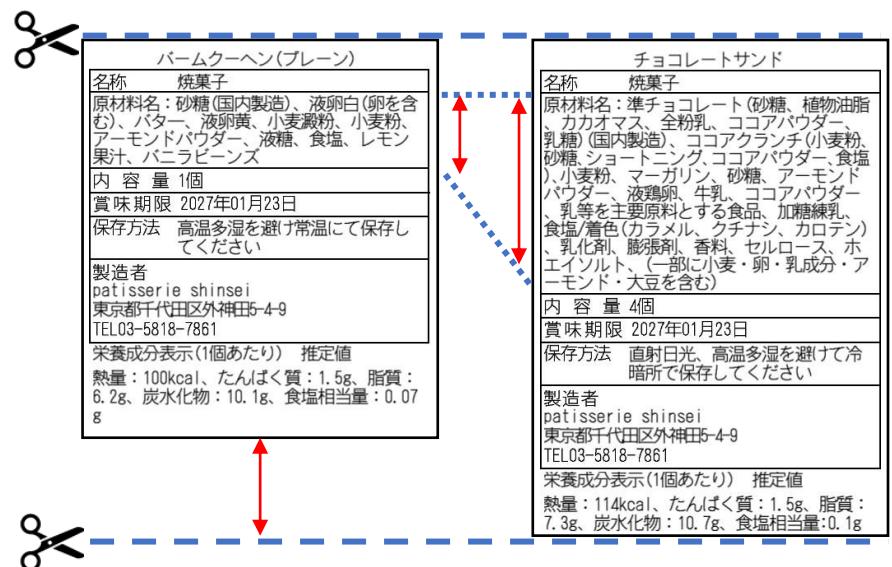
■ライナレスラベルなど長さ方向に自由にカットすることができるフリーサイズラベルを作成する手順について説明します

ライナレスラベルとは、ラベル台紙がないラベルです。

※neo 7 ライナレスモデルのみで使用が可能です



原材料名等商品によって文字数が異なる場合、[高さ可変項目]を使用すると入力されるデータ量に応じて項目の高さを自動で調整することができます。

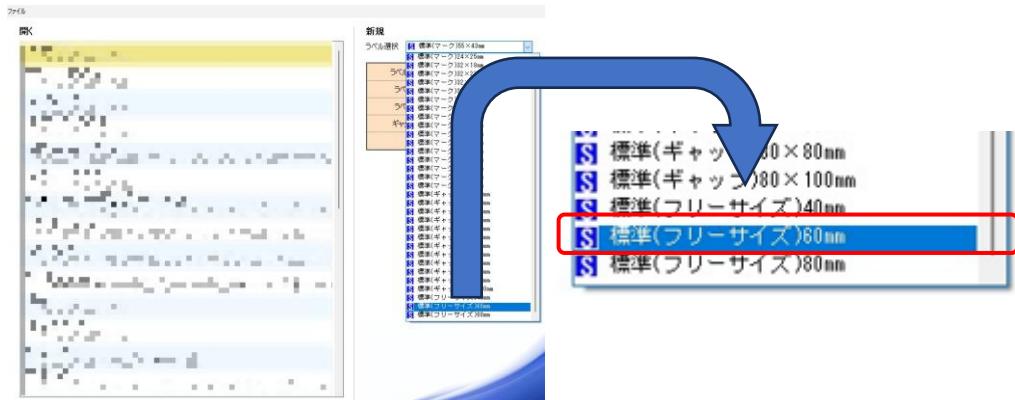


入力されるデータ量に応じて項目の高さを自動で調整し、データが入力されないと選択された項目が削除されて表示されます。

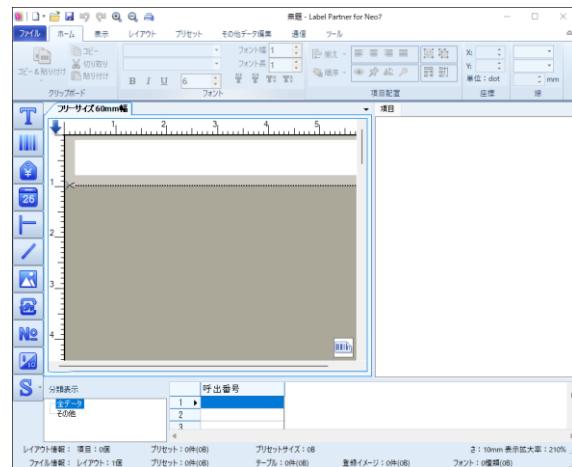
フリーサイズラベルの作成

①ラベルパートナーをアイコンから起動します。

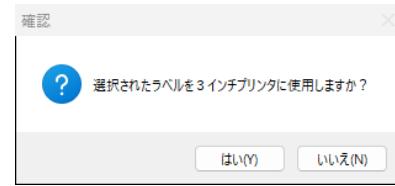
[デフォルトラベル設定] ダイアログが表示されます。
今回は60mm幅のライナーレスラベルを使用するので、ラベル選択ボックスから〈標準（フリーサイズ）60mm〉を選択し、[OK] をクリックします。



③選択した標準のフリーサイズラベルがレイアウトエリアに表示されます。

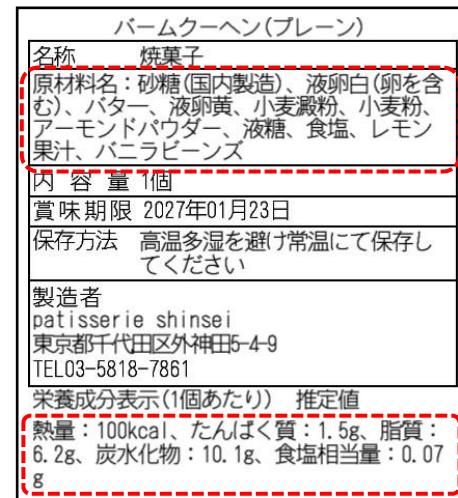


②標準（フリーサイズ）60mmを選択した場合は、2インチまたは3インチの本体にも使用できますが、マージン（印字がされない領域）が異なりますので、次のような確認メッセージが表示されます。「はい」か「いいえ」をクリックします。



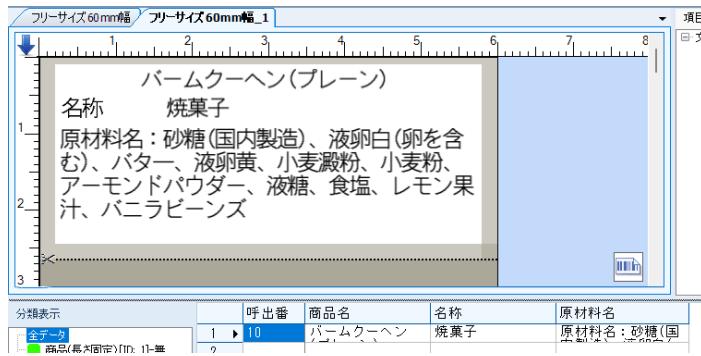
④下記のサンプルラベルに基づいて説明します。

【】で囲った文字項目を高さ可変項目に設定します。



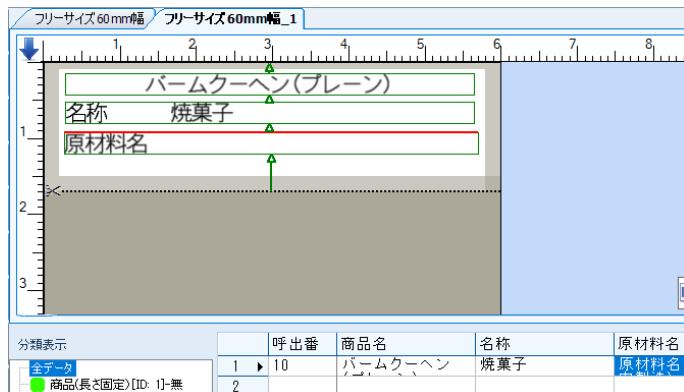
フリーサイズラベルの作成

⑤最初に「商品名」「名称」「原材料名」項目をレイアウトし、それぞれの項目にデータを入力します。

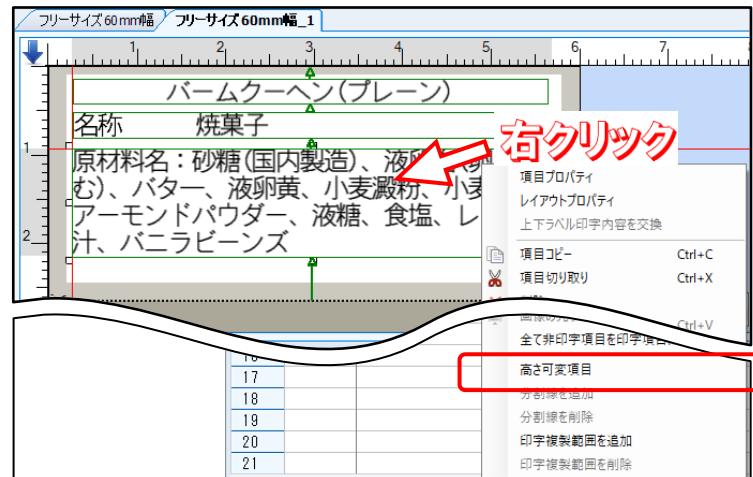


⑦「高さ可変項目」に設定されると、「原材料名」と表示されて上辺が赤線表示されます。

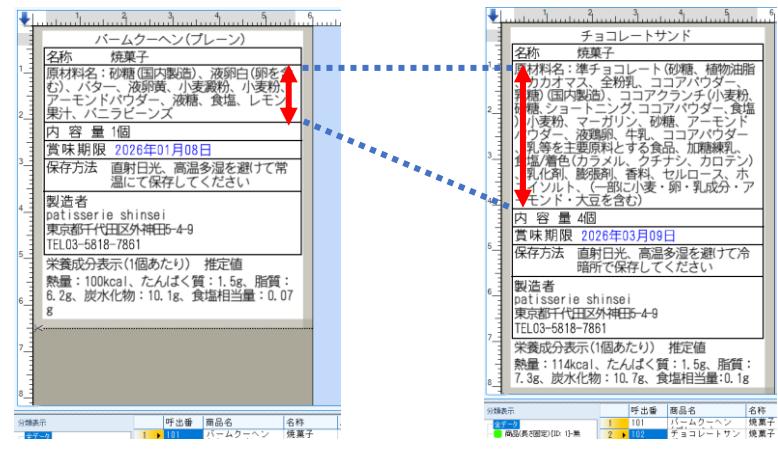
> レイアウトされた項目に入力するデータ量によってラベル長さが変わる項目は、上辺が赤くなります。



⑥次に「原材料名」項目上を右クリックして項目のショートカットメニューを表示させ「高さ可変項目」を選択します。

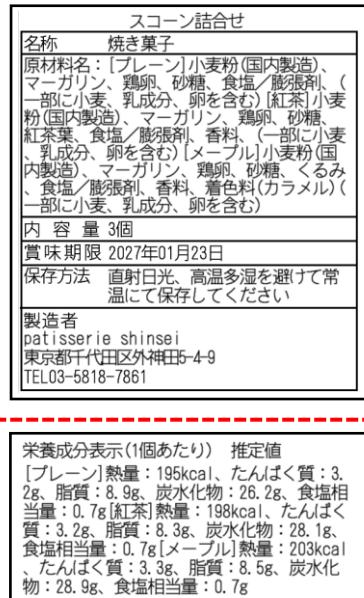
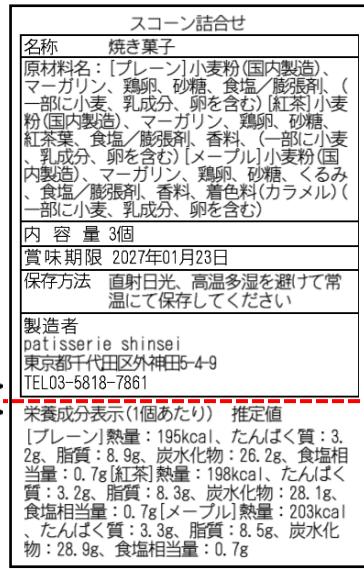


⑧原材料名項目が入力データ量によって可変されました。

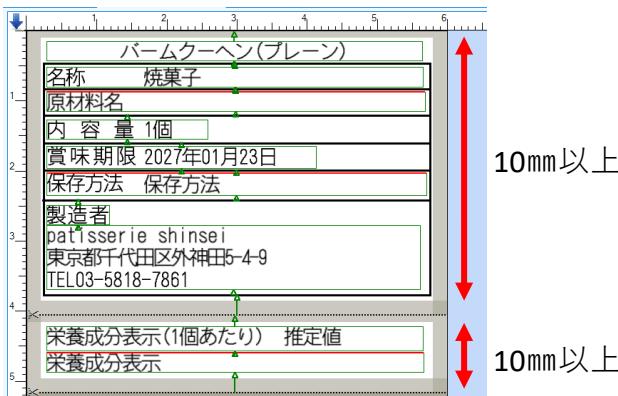


フリーサイズラベルの作成

■分割線を追加してラベルを2枚以上に分割することができます



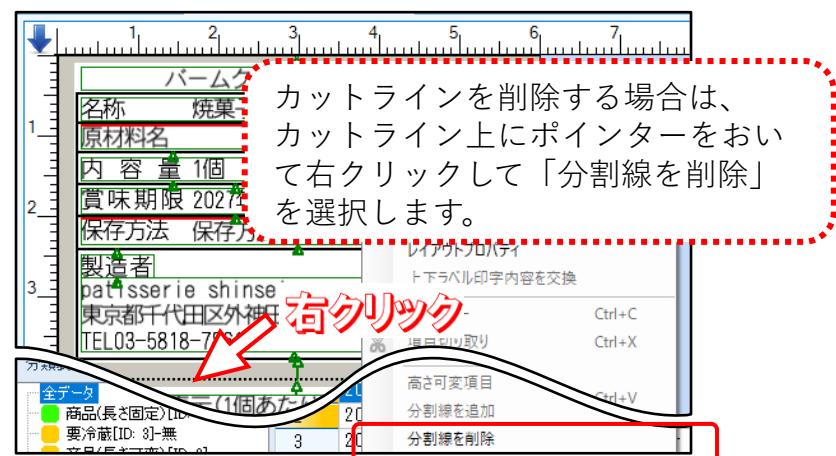
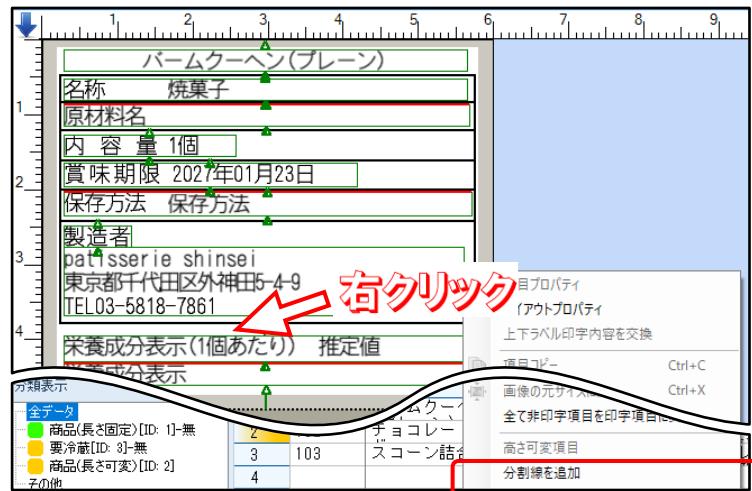
②上下にラベルが2分割されました。



◆分割する場合は、上下のラベルの長さが 10mm 以上必要になります。

◆カットラインにポインターを置いてドラッグすることによりカットラインを移動させることができます。

- ① 「電話番号」項目と「栄養成分表示」項目とのレイアウトエリアの間を右クリックして項目のショートカットメニューを表示させ「分割線を追加」を選択します。



右クリック

カットラインを削除する場合は、
カットライン上にポインターをおいて右クリックして「分割線を削除」を選択します。

右クリック